

凄い環15年!!

～土星の環の傾きを追いかけて～

熊森照明（大阪府堺市）

○はじめに

望遠鏡を通して見る土星の環は感動以外の何ものでもありません。ところが、この素晴らしい環の感動を写し撮るのは簡単ではありません。

20世紀末、動画で撮影された惑星像から高解像の惑星像を抽出する技術が進化し、21世紀に入って確立し、土星の環もシャープな姿で捉えられるようになりました。

2003年環の南側が開いて見えた時から15年、2017年の環の北側が開くまで公転周期の半分、15年を掛けて高解像の環を追いかけた記録です。

○望遠鏡と動画カメラ

土星の環が望遠鏡を通して良く見えるので気づきにくいのですが、土星は木星に比べると輝度が約4分の1しかなく、より良く撮影するためには、光をより集める口径と高感度センサーカメラが必要です。

20世紀の銀塩フィルム時代では、とってもしななかったことが現在のデジタル技術で詳細な環を捉えることが可能になりました。

○後15年

次に環の南側が大きく開くまで15年ありますが、ぜひともがんばって土星の1公転に辿り着きたいと思っています。

